

「中心市街地」に関する市民アンケート結果

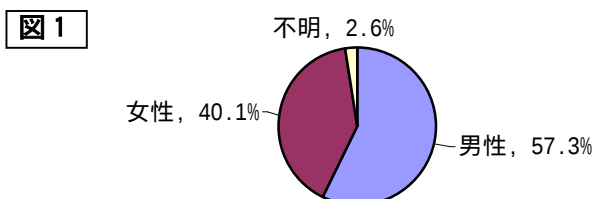
1	アンケートの実施概要	
2	回答者の属性	・ ・ ・ ・ ・ 1
	性 別	
	年 齢 別	
	職 業 別	
	居住地域別	
3	中心市街地として思い浮かべる地域	・ ・ ・ ・ ・ 2
	性 別	
	年 齢 別	
	職 業 別	
	居住地域別	
4	中心市街地の現状についての評価	・ ・ ・ ・ ・ 5
	性 別	・ ・ ・ ・ ・ 6
	年 齢 別	・ ・ ・ ・ ・ 8
	職 業 別	・ ・ ・ ・ ・ 15
	居住地域別	・ ・ ・ ・ ・ 22
5	回答者の記述意見	・ ・ ・ ・ ・ 31
	日常の買い物施設	・ ・ ・ ・ ・ 31
	病院などの医療施設	・ ・ ・ ・ ・ 35
	高齢者にやさしい施設	・ ・ ・ ・ ・ 37
	教育文化系の施設	・ ・ ・ ・ ・ 41
	その他の施設	・ ・ ・ ・ ・ 44
	自由意見	・ ・ ・ ・ ・ 48

1 アンケートの実施概要

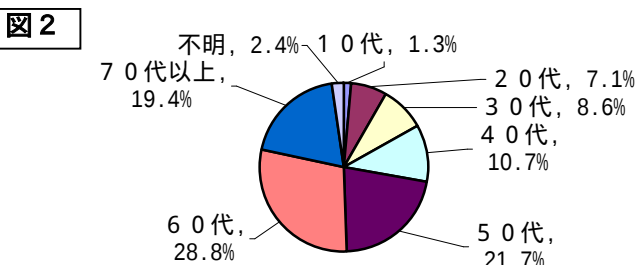
- 実施主体 釧路市経済部商業労政課
- 調査期間 平成19年9月13日～9月26日まで
- 対象者 1,000件。なお、調査票は次のように配布した。
 - ・一般世帯 500件
 - ・小中学生を子に持つ母親 160件
 - ・商業者 230件
 - ・大学生 50件
 - ・市民活動センター登録団体のメンバー 60件
- 調査方法 家庭における回答ののち、郵送により回収した。
- 回答数 382件（回答率38.2%）

2 回答者の属性

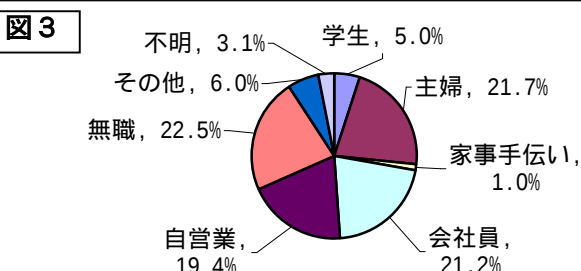
性別	回答数	構成比
男性	219	57.3%
女性	153	40.1%
不明	10	2.6%



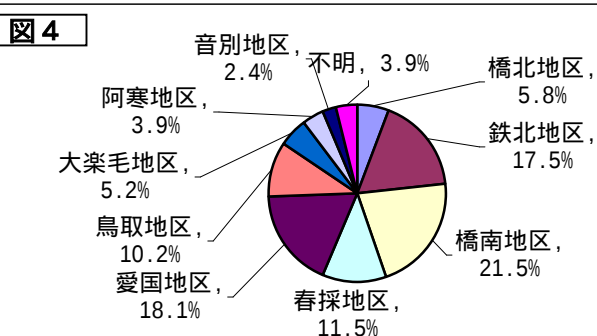
年齢	回答数	構成比
10代	5	1.3%
20代	27	7.1%
30代	33	8.6%
40代	41	10.7%
50代	83	21.7%
60代	110	28.8%
70代以上	74	19.4%
不明	9	2.4%



職業	回答数	構成比
学生	19	5.0%
主婦	83	21.7%
家事手伝い	4	1.0%
会社員	81	21.2%
自営業	74	19.4%
無職	86	22.5%
その他	23	6.0%
不明	12	3.1%



住まい	回答数	構成比
橋北地区	22	5.8%
鉄北地区	67	17.5%
橋南地区	82	21.5%
春採地区	44	11.5%
愛国地区	69	18.1%
鳥取地区	39	10.2%
大楽毛地区	20	5.2%
阿寒地区	15	3.9%
音別地区	9	2.4%
不明	15	3.9%



3 中心市街地として思い浮かべる地域

中心市街地として思い浮かべる地域については、「北大通」「駅～幣舞橋」など北大通に面した地域を想定させる答えが全体の半数を占め、また「駅前」「十字街」などの北大通の一部をさす地域や、末広町や幸町を含む「北大通周辺」までをまとめると回答数で283件、構成比で74.1%を占めた。

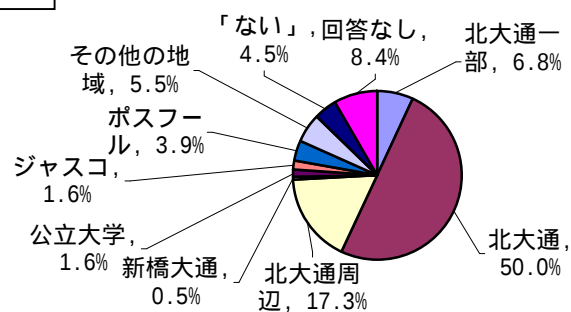
次いで多くあったのは「ポスフル」である。また「公立大学」については「ジャスコ」と同数の支持があったことは特筆される。

なお、先に策定した中心市街地活性化基本計画で中心市街地に入っている「南大通」「城山十字街」「共栄大通」「若松町」などの地域や「新橋大通」については、支持する回答が少なかった。

また「北大通周辺」までを含む北大通についてみると、年代別では、60代で80%を超える支持があるが、回答数は少ないものの10代では40%となっており、職業別でも学生からは過半の支持を得るに至っていない。その一方、橋南地域や大楽毛地域という都心部からやや離れた地域からの支持が高い。

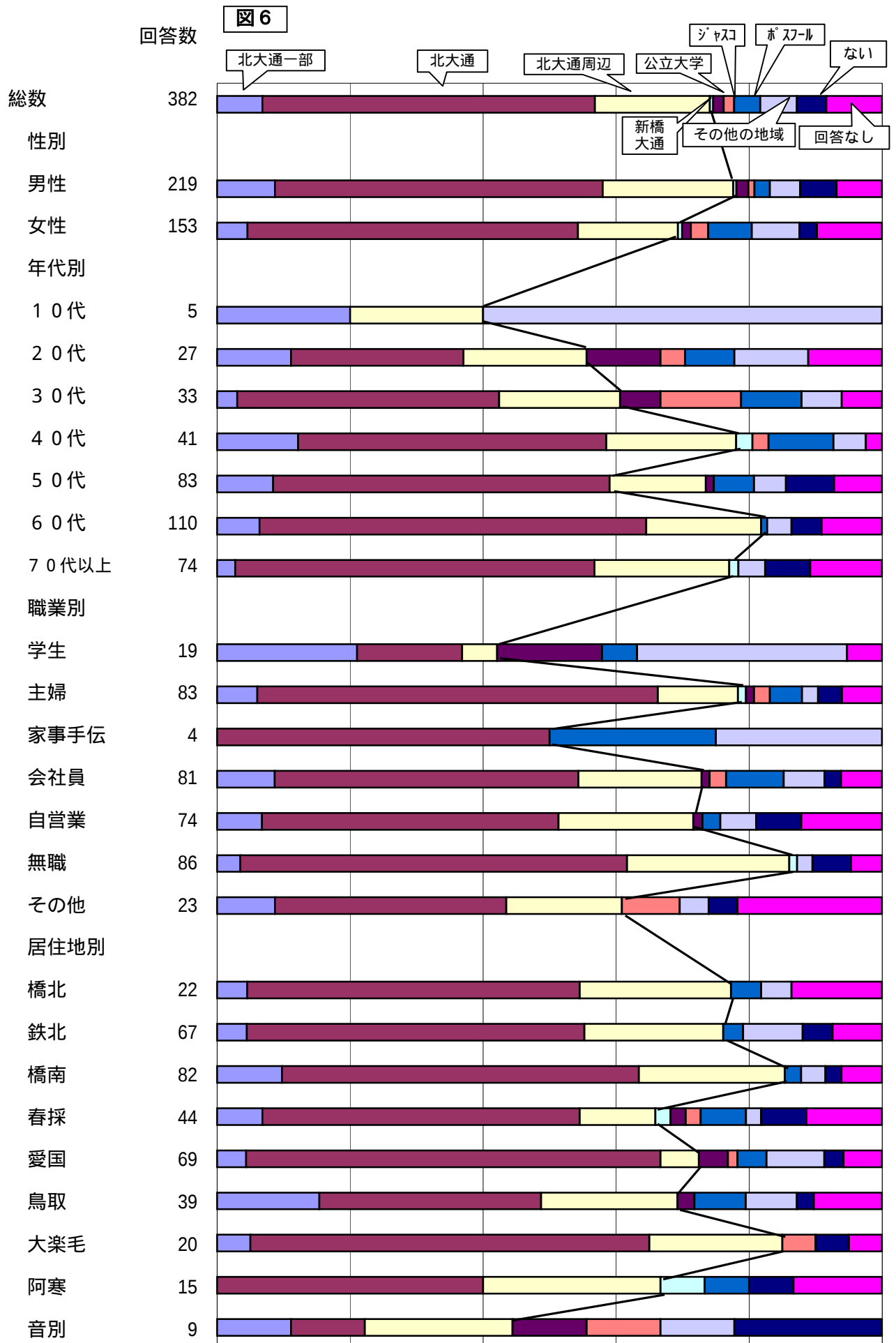
	回答数	構成比
北大通一部	26	6.8%
北大通	191	50.0%
北大通周辺	66	17.3%
新橋大通	2	0.5%
公立大学	6	1.6%
ジャスコ	6	1.6%
ポスフル	15	3.9%
その他の地域	21	5.5%
「ない」	17	4.5%
回答なし	32	8.4%
合 計	382	100.0%

図5



上記分類は次の内容により行なった。

- 「北大通一部」：北大通の一部を記入していたもの(「駅前」「十字街」「旧今井周辺」など)
- 「北大通」：通りに面している地域を想定させるもの(「北大通」「駅～幣舞橋」など)
- 「北大通周辺」：北大通の周辺を含む記入があったもの(「北大通周辺」「駅西～幣舞橋」など)
- 「新橋大通」：新橋大通を中心に記入していたもの
- 「公立大学」：芦野、愛国、文苑など、公立大学周辺の地域を中心に記入していたもの
- 「ジャスコ」：ジャスコを中心にした地域を記入していたもの
- 「ポスフル」：ポスフルを中心にした地域を記入していたもの
- 「その他」：上記にない地域名や、「ジャスコ・ポスフル」など複数の地名を記入していたもの
- 「ない」：「現在は中心市街地はない」に類する回答を記入していたもの
- 回答なし：「?」、「わからない」などの記入や、回答がなかったもの



(図 6 の元数値)

	北大通一部	北大通	北大通周辺	新橋大通	公立大学	ジャスコ	ポスフル	その他の地域	ない	回答なし
総計	26	191	66	2	6	6	15	21	17	32
性別										
男性	19	108	43	1	4	2	5	10	12	15
女性	7	76	23	1	2	4	10	11	4	15
年代別										
10代	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0
20代	3	7	5	0	3	1	2	3	0	3
30代	1	13	6	0	2	4	3	2	0	2
40代	5	19	8	1	0	1	4	2	0	1
50代	7	42	12	0	1	0	5	4	6	6
60代	7	64	19	0	0	0	1	4	5	10
70代以上	2	40	15	1	0	0	0	3	5	8
職業別										
学生	4	3	1	0	3	0	1	6	0	1
主婦	5	50	10	1	1	2	4	2	3	5
家事手伝	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0
会社員	7	37	15	0	1	2	7	5	2	5
自営業	5	33	15	0	1	0	2	4	5	9
無職	3	50	21	1	0	0	0	2	5	4
その他	2	8	4	0	0	2	0	1	1	5
居住地別										
橋北	1	11	5	0	0	0	1	1	0	3
鉄北	3	34	14	0	0	0	2	6	3	5
橋南	8	44	18	0	0	0	2	3	2	5
春採	3	21	5	1	1	1	3	1	3	5
愛国	3	43	4	0	3	1	3	6	2	4
鳥取	6	13	8	0	1	0	3	3	1	4
大楽毛	1	12	4	0	0	1	0	0	1	1
阿寒	0	6	4	1	0	0	1	0	1	2
音別	1	1	2	0	1	1	0	1	2	0

4 中心市街地の現状についての評価

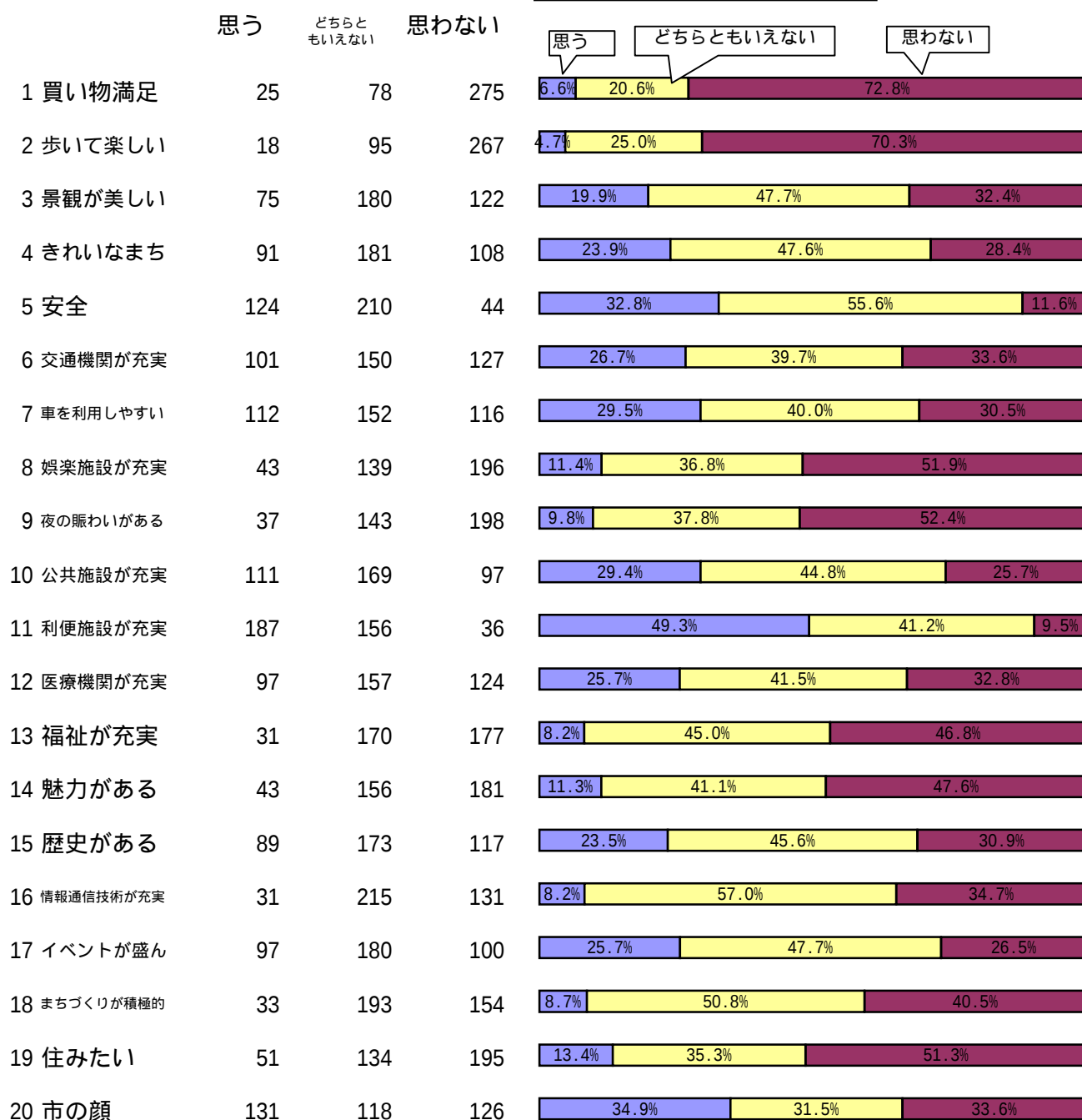
中心市街地への充足度をみると、「思う」と答えた割合が30%を越えている項目は「利便施設が充実している」「市の顔」「安全」の3項目であり、またこの3項目だけが「思う」が「思わない」を上回っている。

その一方で「思わない」と答えた割合が30%を越えているのは15項目、50%を越えているのも5項目となっており、特に「買い物満足」と「歩いて楽しい」の評価が低く、総じて中心市街地への充足度は低いといえる。

「思う」と「思わない」との回答割合の差を見ると、性別では女性、年代別では20代、職業別では主婦又は会社員、居住地域別では春採地区でマイナスが大きい。

中心市街地活性化には、このマイナスの解消策を大きな柱にしなければならない。

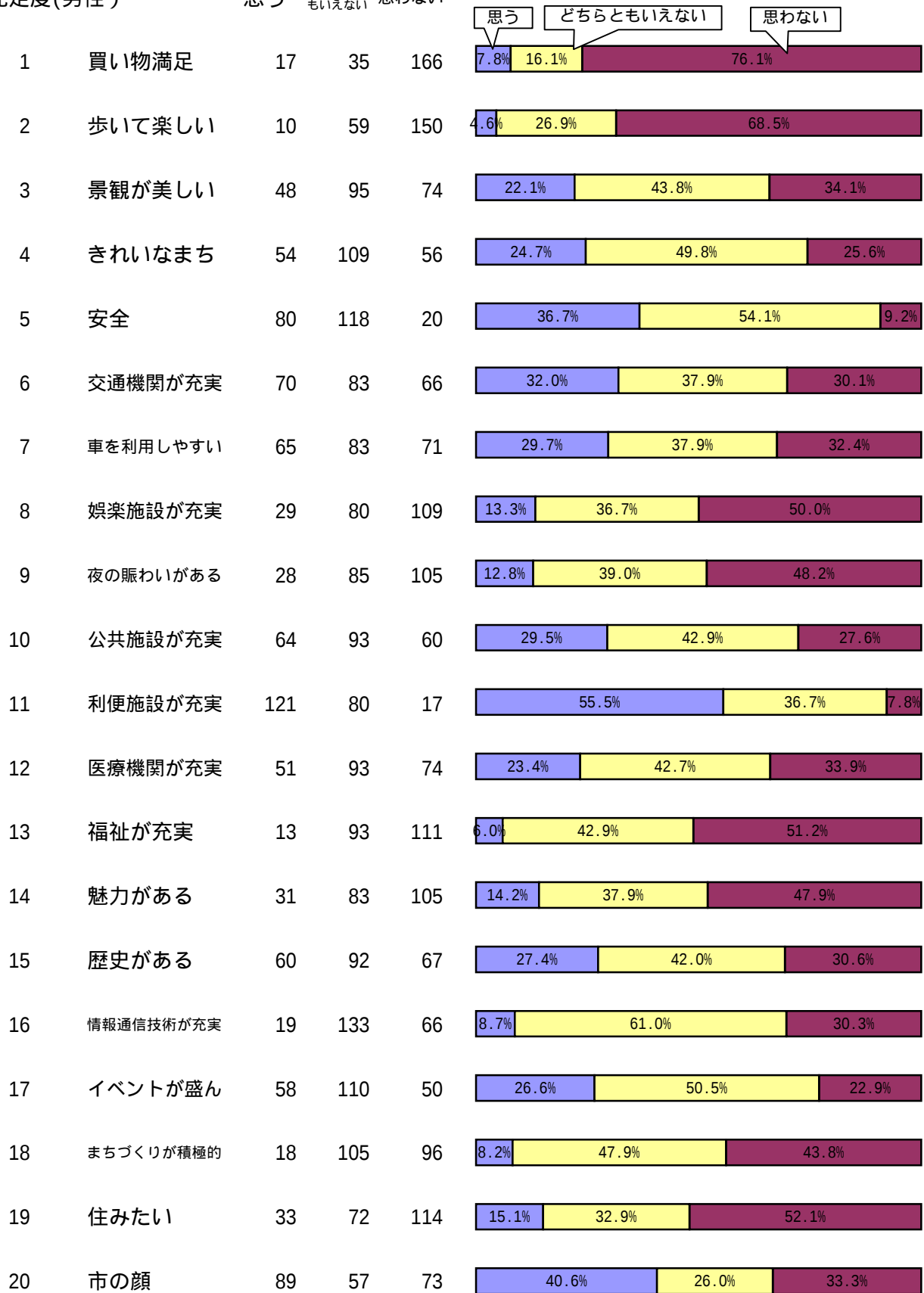
図7 充足度比較(全体)



充足度(男性)

思う どちらとも
いえない 思わない

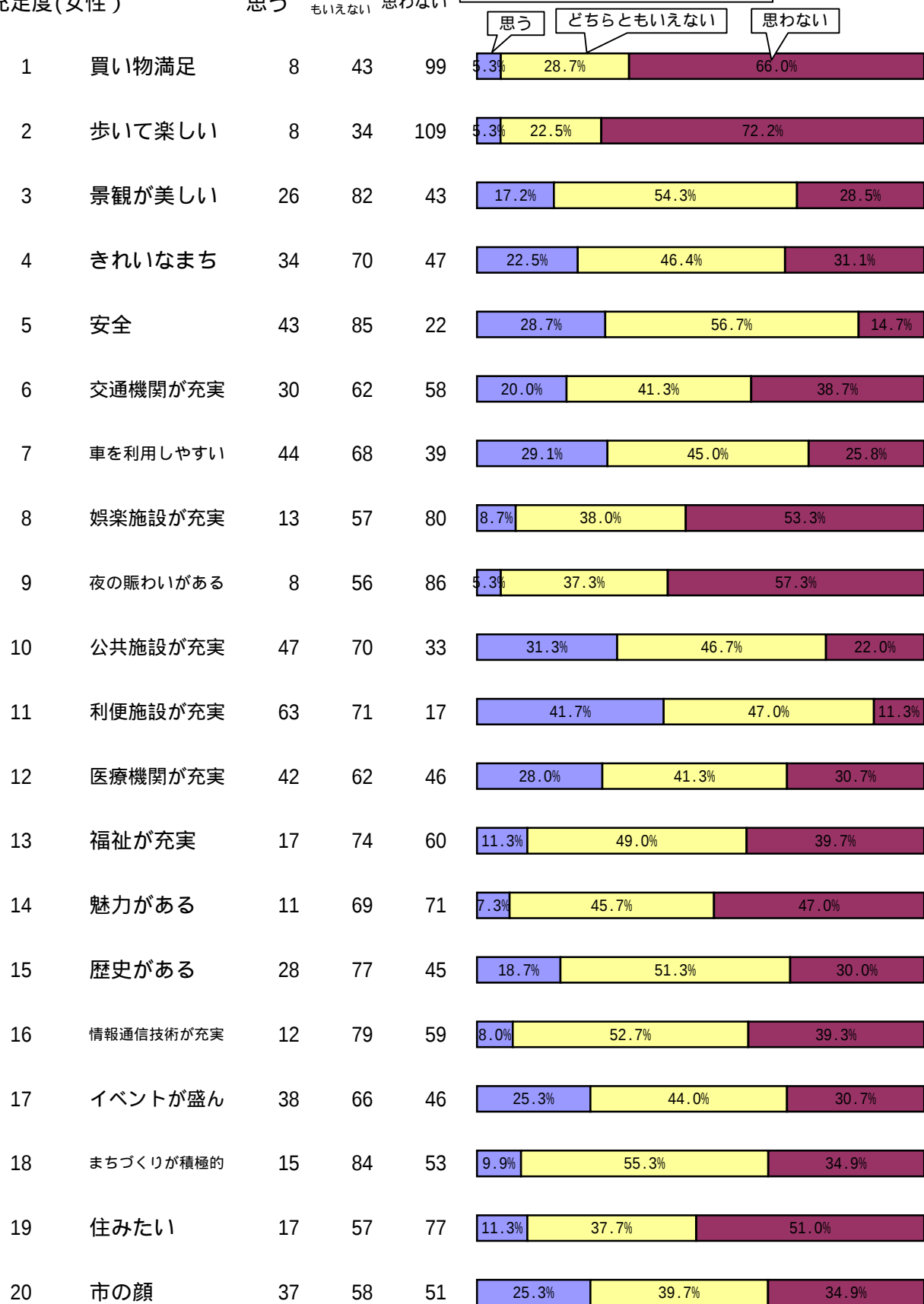
図8 充足度比較(男性)

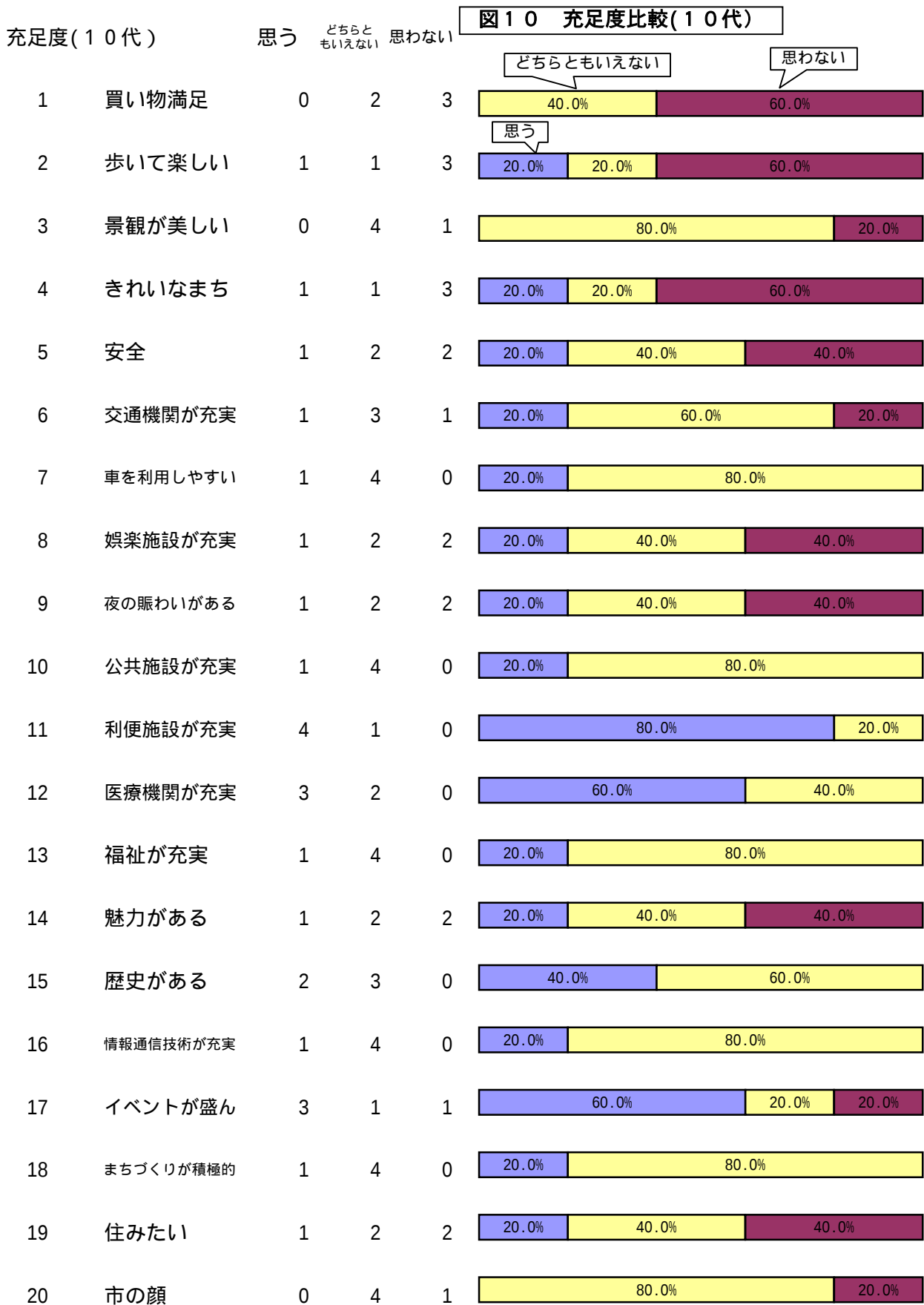


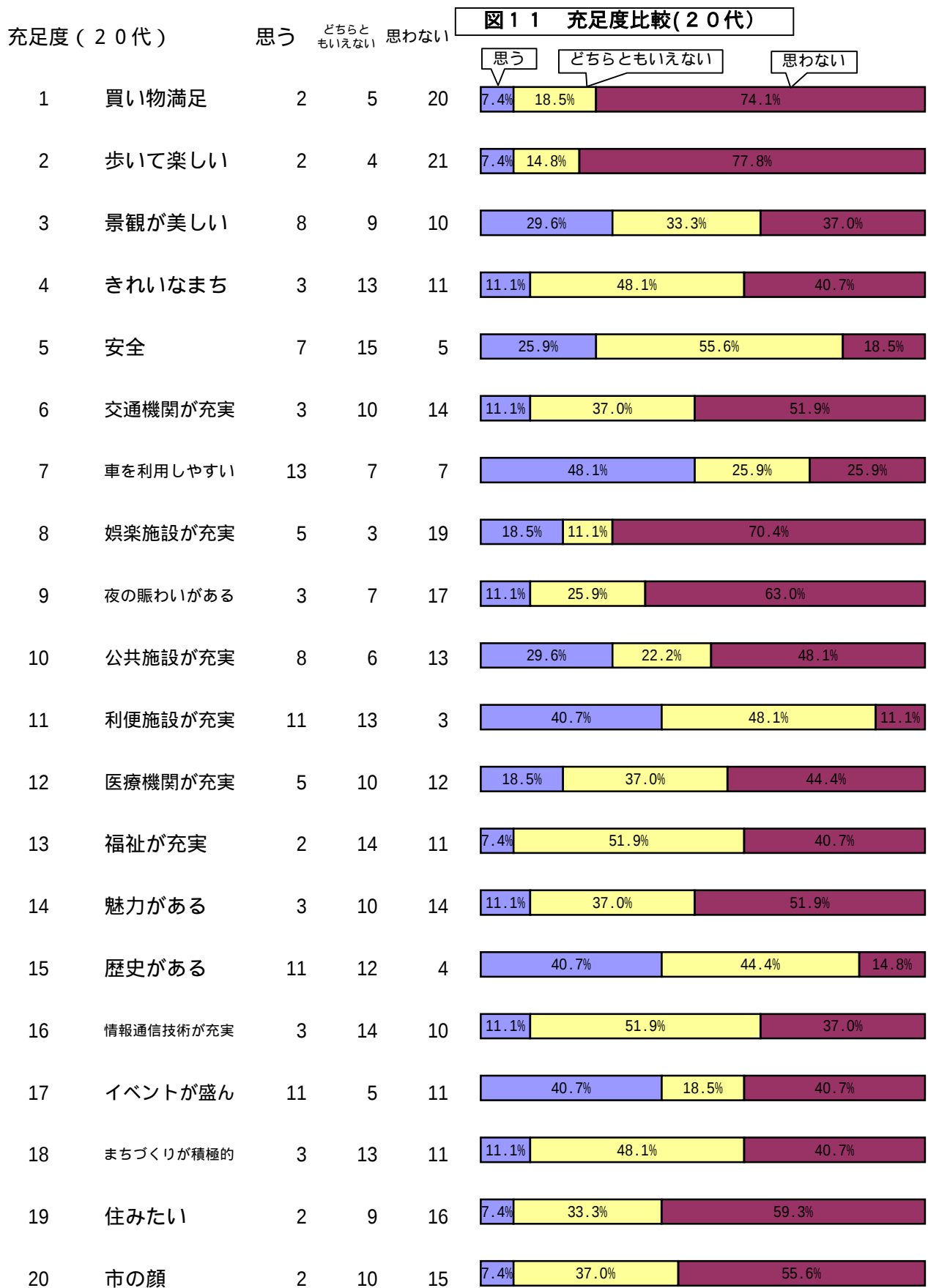
充足度(女性)

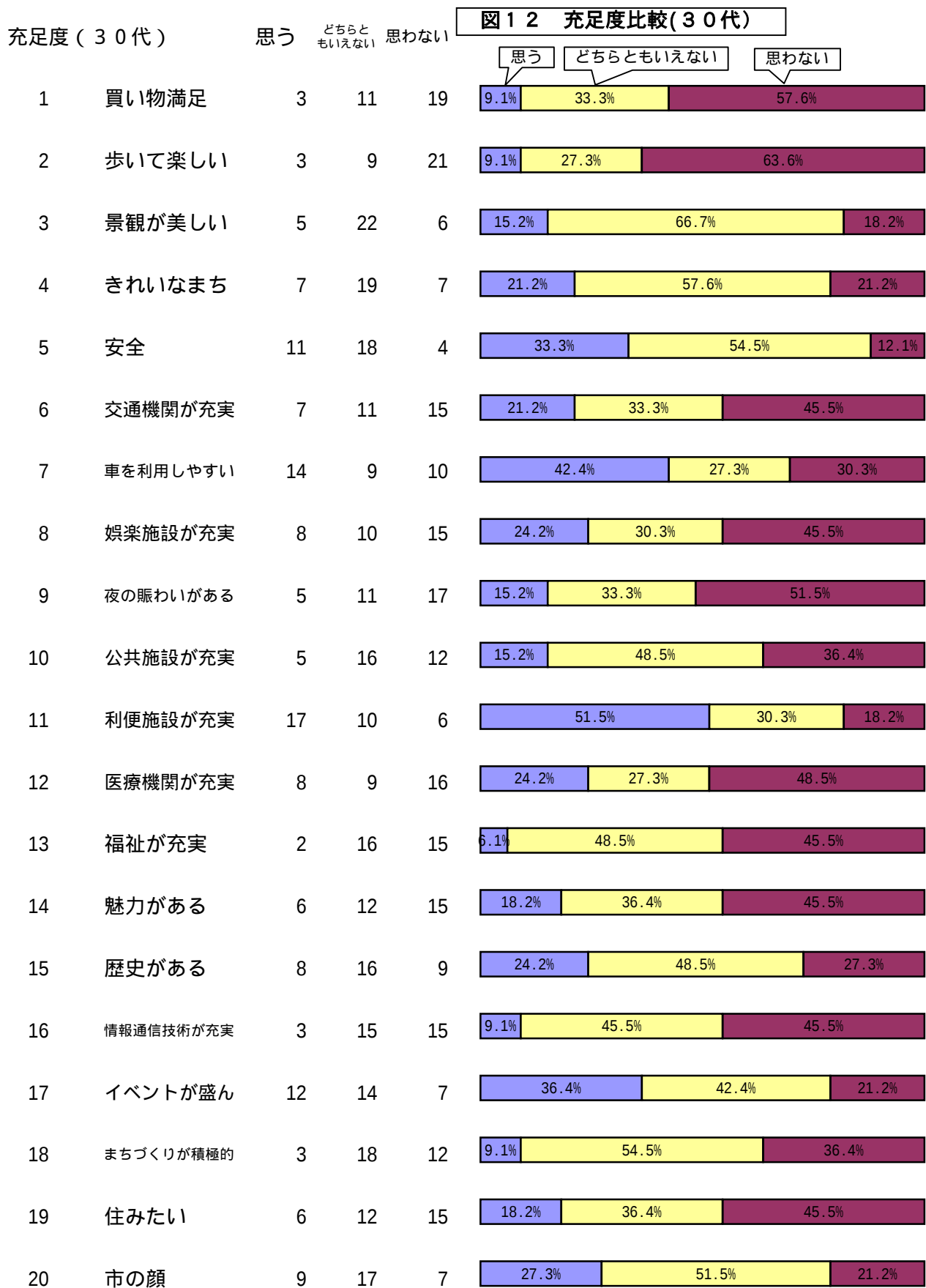
思う どちらとも
いえない 思わない

図9 充足度比較(女性)





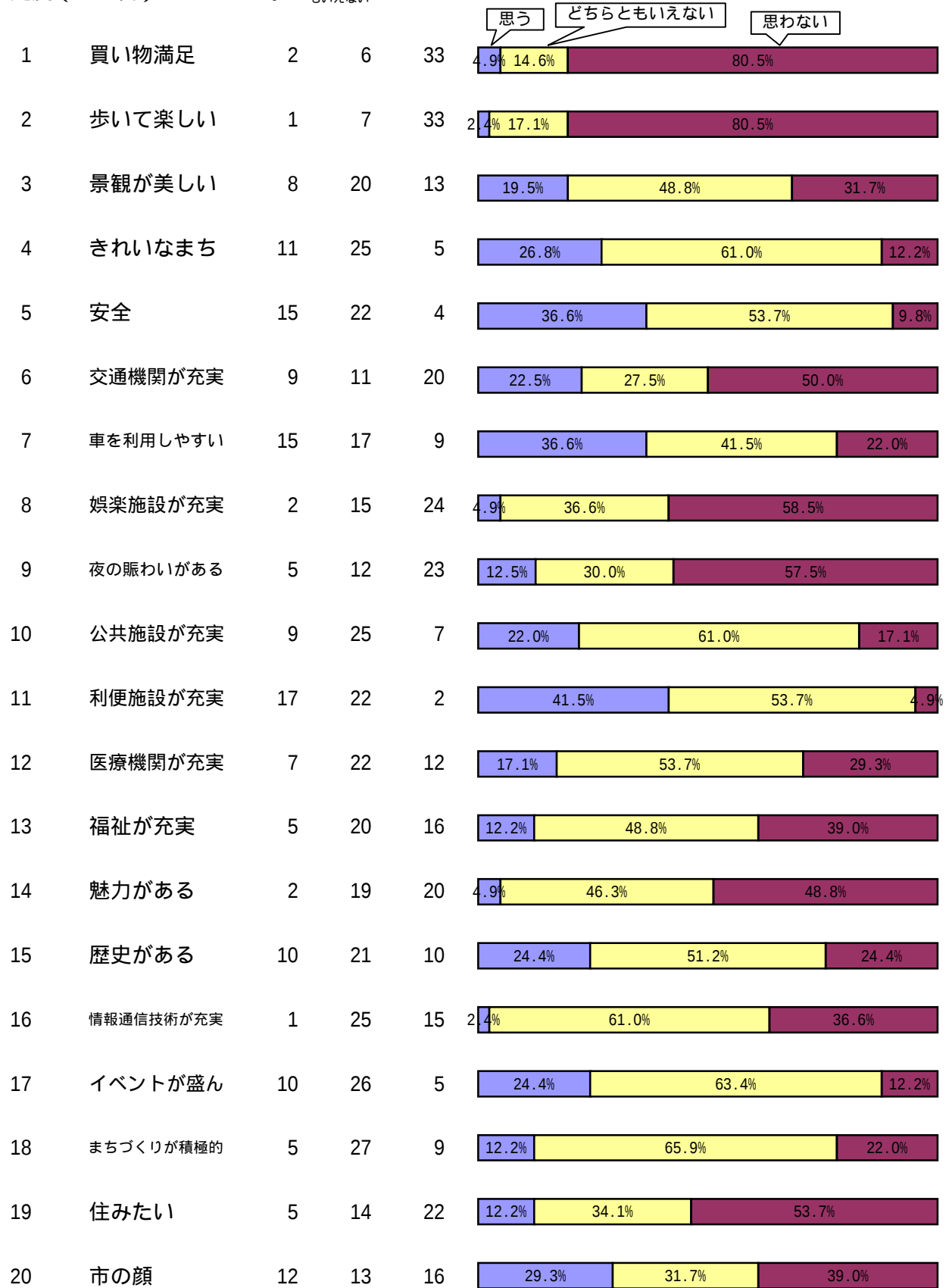


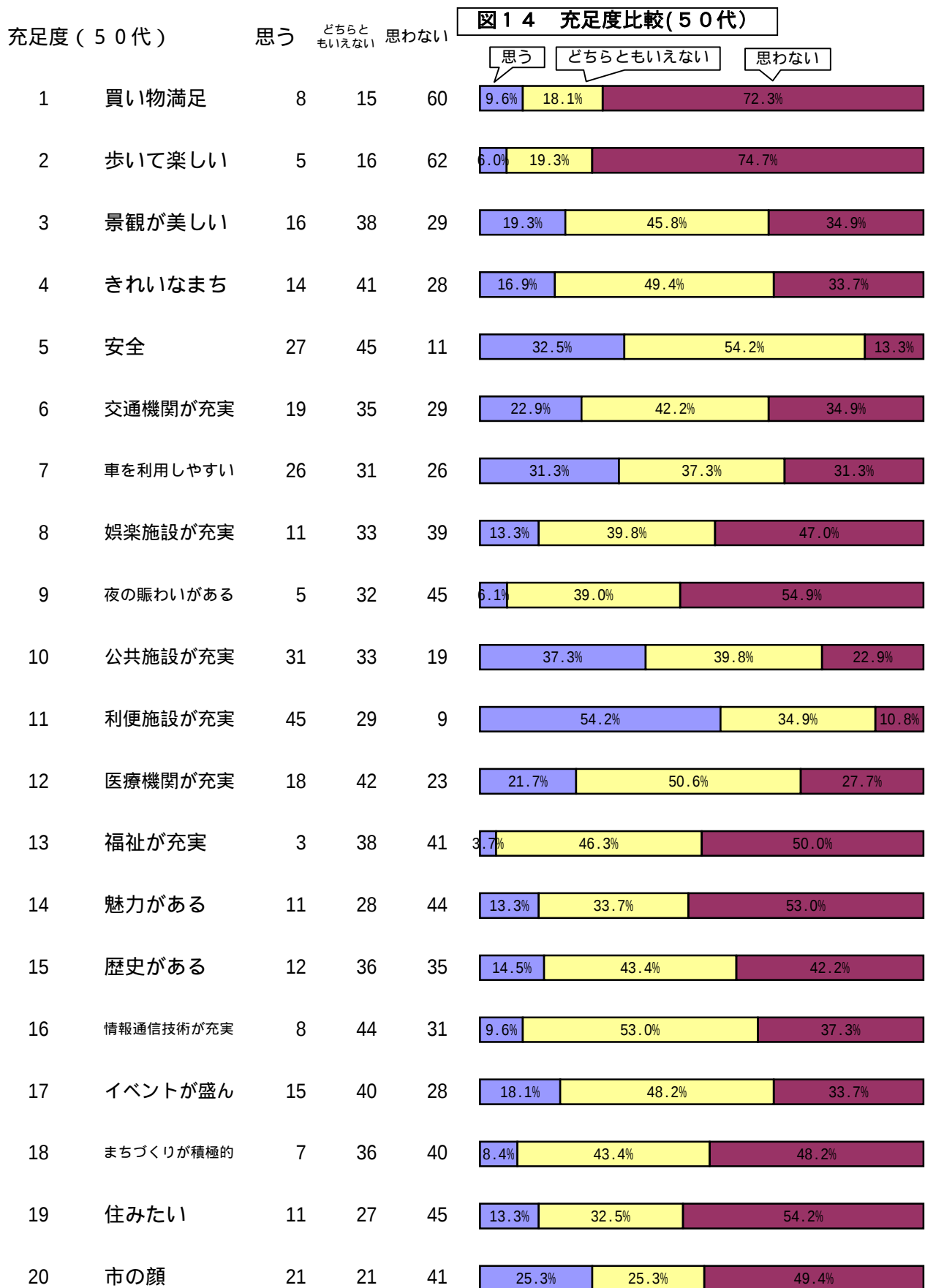


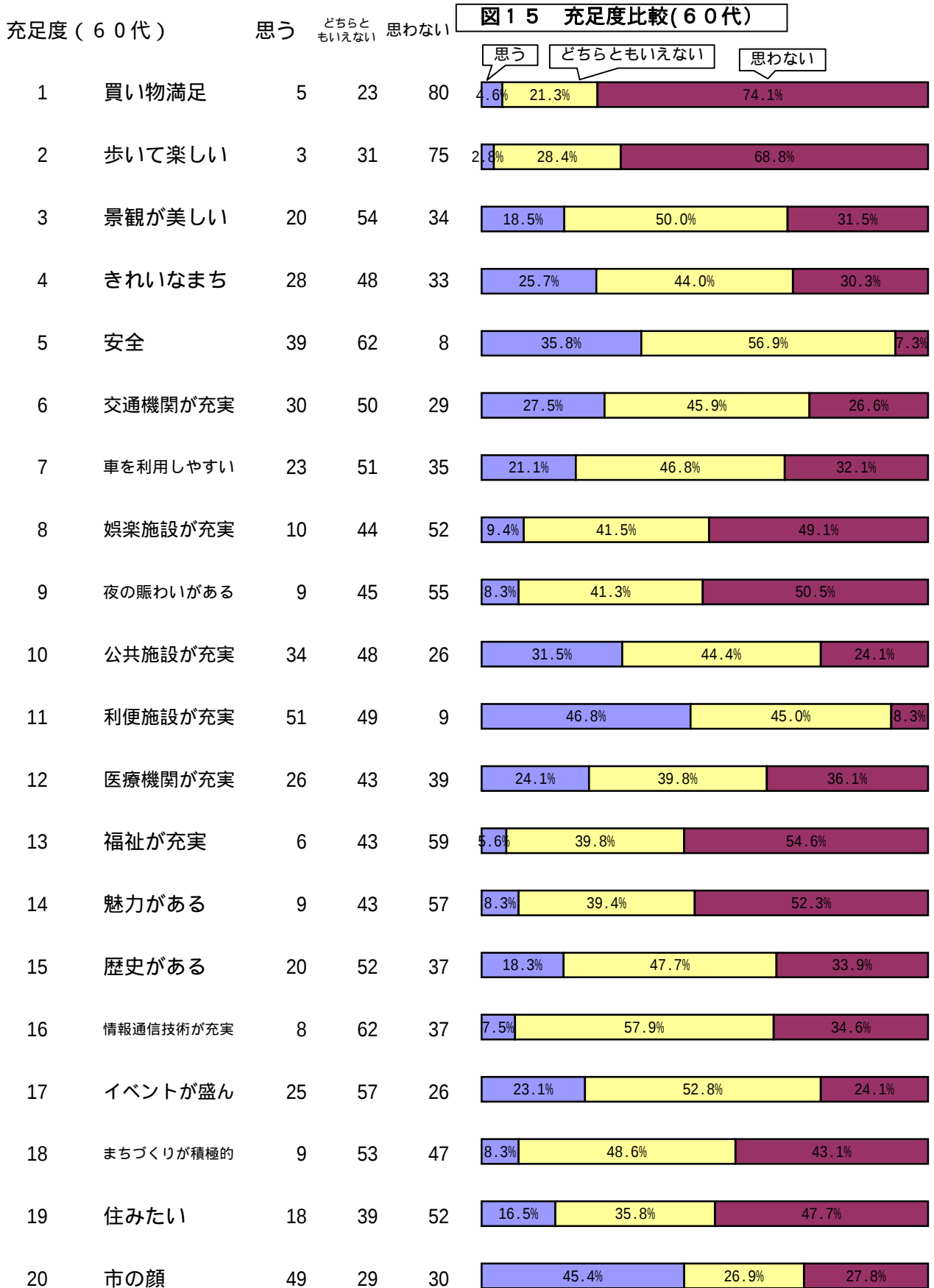
充足度（４０代）

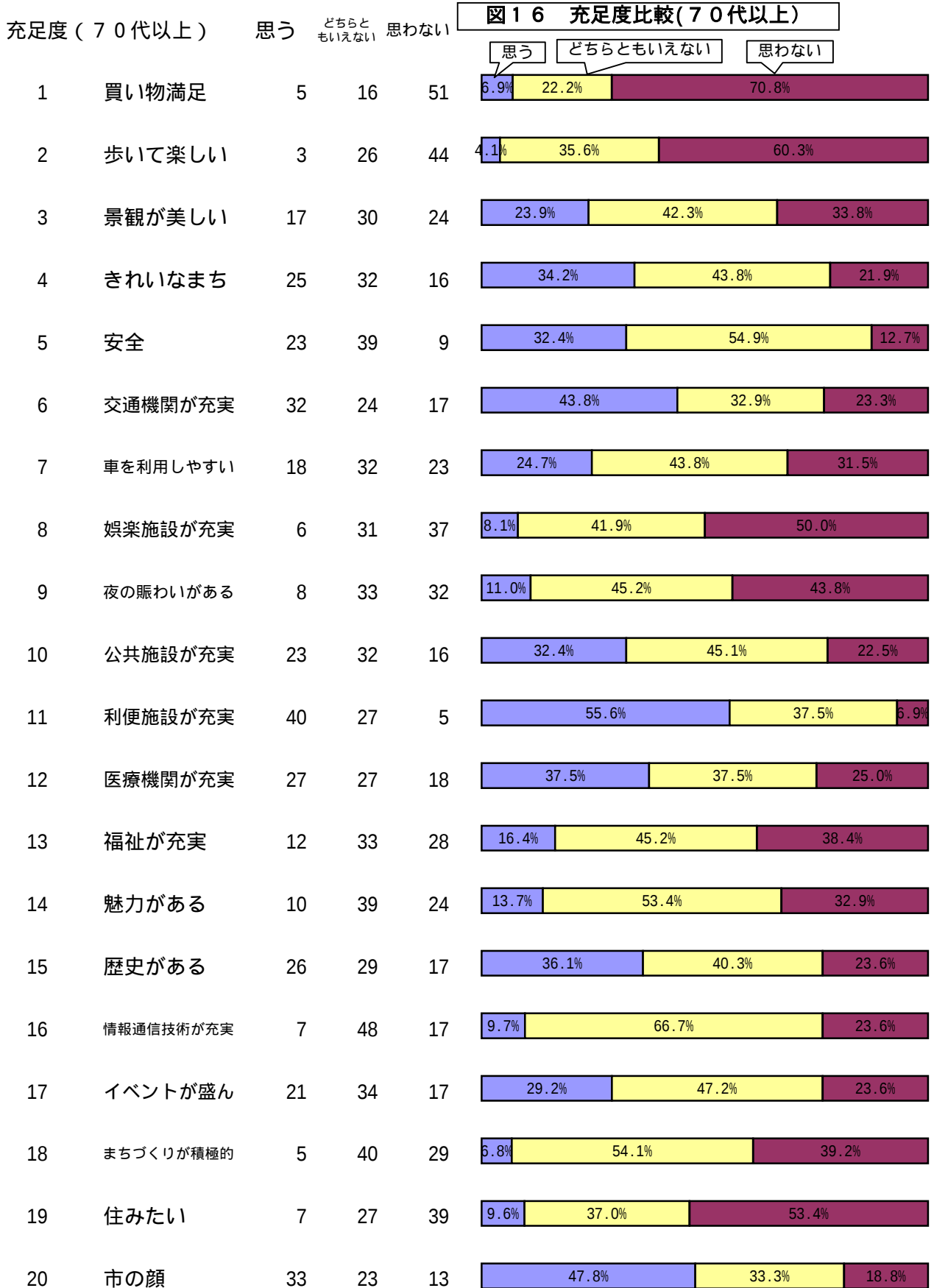
思う どちらとも
いえない 思わない

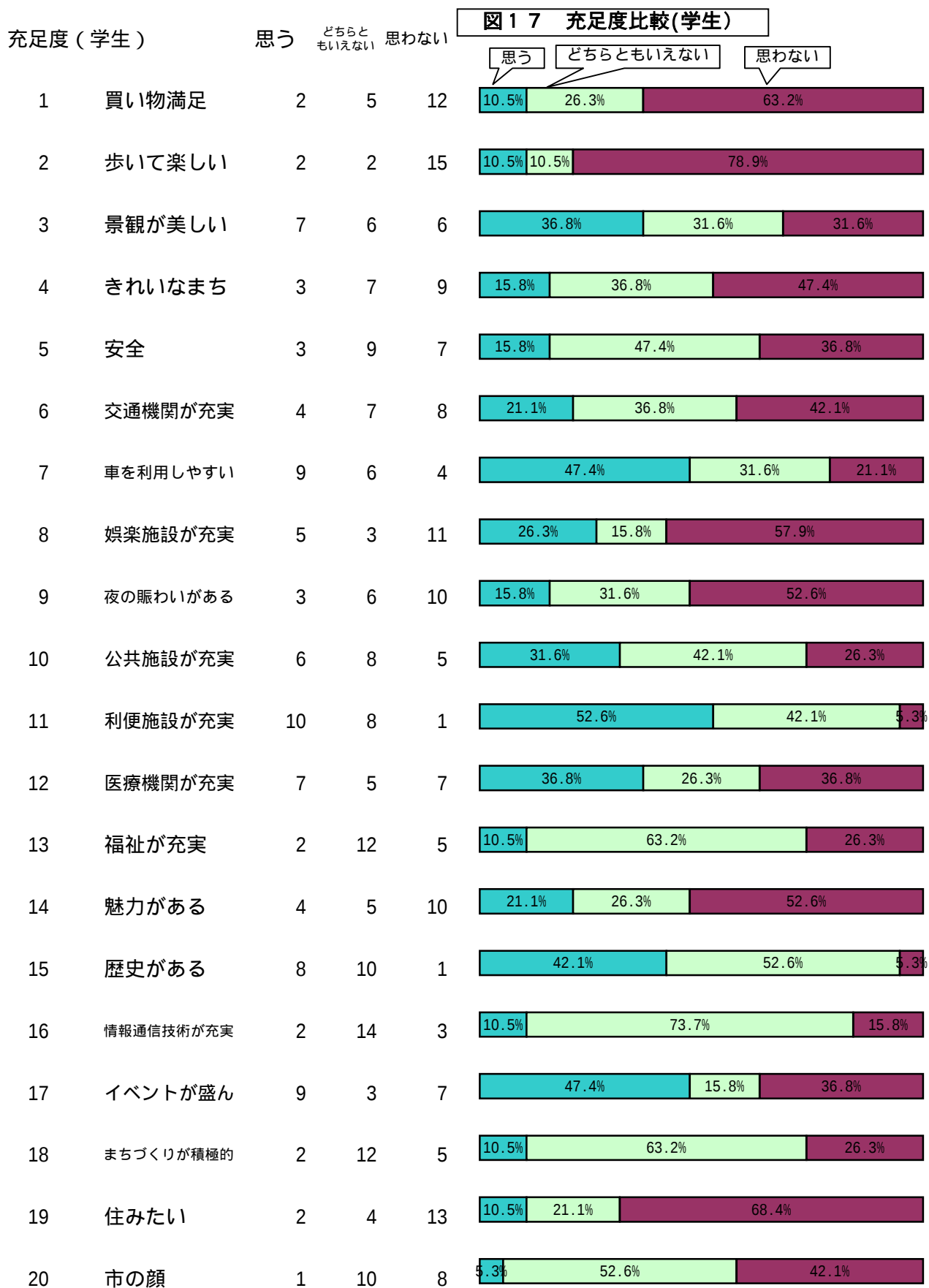
図１３ 充足度比較(４０代)











充足度(主婦)

思う どちらとも
いえない 思わない

図 18 充足度比較(主婦)

